

選挙公報

きれいな空気、青い海、美しいみどりの自然環境を守り

「市民のくらしが第一」の市政を



林のぶあき

無所属・共産党推せん はやし伸明

安倍政権の暴走を許せますか？。私は自公政権の「戦争する国づくり」に市政の場からキツパリ「ノー」と主張します。そして、憲法を活かし、「市民のくらしが第一」の市政を実現します。買物や病院に行くにも交通が不便、空家・谷戸対策、国保料が払えない、子育てをもっと応援してほしい…、みなさんの声をしっかりと受け止め、要求実現に全力でとり組みます。みなさんのご支援を心からお願ひいたします。

埼玉県生まれ51歳。神大中退。中央憲法会議常任幹事、日本共産党県書記長などを歴任。現在、横須賀市民の市長をつくる会代表委員。党三浦半島地区委員長。

◆戦争する国づくりの安倍暴走政治にはキツパリと「ノー」と言います

国の悪政にキツパリと「ノー」と言い、市民のくらしを守る自治体の役割をしっかりと果たします。

◆石炭火力発電所計画の撤回を求めます
施設配置適正化計画は抜本的に見直します

パリ協定に逆行する石炭火力発電所計画の撤回をもとめます。豊かな自然環境を守ります。

◆いつまでも米軍基地と原子力空母の街でいいのでしょうか

基地強化に反対し、原子力空母の母港撤回を求めます。海外の戦争への参加に反対し、自衛隊員を守ります。軍転法を生かし平和な街をめざします。

5つの約束

- 中学校給食は自校方式・直営で実施
- 小児医療無料化を中卒まで、さらに18歳まで拡充
- 国保料の引き下げと減免制度の拡充
- 住宅リフォーム助成復活、商店版リフォーム助成
- エコリフォーム助成の創設、エコ産業振興など、市内業者への支援強化で、地域循環型経済のしくみづくりを促進
- シニアパスは1万円に。コミュニティバスの推進



若い世代から、企業から、観光客から、赤ちゃんから、ホテルから...

選ばれるまち、横須賀へ

駅立ち通算
1,760日
以上!!

ご高齢の方からも、選ばれ続けるまちへ

「死んだ後も安心できる横須賀市に」そういう政策提案が職員から挙がってきました。引き取り手のないご遺体が年間60体程あり、葬儀もなく火葬された後は他の人の遺骨と混ぜられて納骨される、という事実をはじめて知りました。亡くなられた方の中には、熱心に信仰していた宗教もあったかもしれませんし、先祖からのお墓もあったかもしれません。けれども、一人暮らしで身寄りもなく暮らしている方に万が一のことがあっても、誰もそういったことを知るよしもありません。

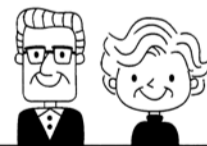
そこでエンディングプランサポート事業を立ち上げました。多くの新聞やテレビで取り上げられるようになりましたが、実際に市役所

に届く相談は、身につまされるものばかりです。ご主人様が2ヶ月前に亡くなられた奥様からのご相談。「私が死んだら、夫の眠る永代供養墓に納骨して欲しいけれど、いったい誰が納骨してくれるのでしょうか？」

職員の説明を受け、事業に登録。その2ヶ月後に後を追うように急逝されました。事業に協力してくださっている葬儀屋さんの手により、ご希望通りの宗派で葬儀が挙げられ、ご主人の御遺骨の横に二人仲良く納骨されました。納骨に立ち会った職員の目にも涙が。職員の政策提案から始まった「一人暮らしで身寄りのないご高齢の方の『亡くなられた後』についての相談事業」。これからは、飼主が亡くなった後のペットの行き場などにも取り組んでいきたいと思ひます。

「ご高齢の方からも選ばれるまち」への政策を一部抜粋してご紹介します。

- ラジオ体操の後などに手軽に運動ができるよう、公園に健康器具をさらに整備します。
- 横須賀を離れた若者が「親の近くで暮らしたい」と戻ってきやすくなるよう多世代同居（近居）を支援します。
- 孤立死ゼロを目指して、地域における見守りと、福祉・医療の連携を進めていきます。



プロフィール

●1975年12月3日生まれ 卯年 射手座のA型 ●1994年 県立横須賀高校 卒業 (第46期生徒会長) ●1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業、イギリス・ロンドンに短期語学留学 (約3ヶ月) ●2002年 アクセンチュア株式会社 退社 (大学院入学) ●2003年 横須賀市議会議員に初当選 (2007年 2期目当選) ●2006年 早稲田大学 大学院 政治学修士 (地方自治行政) 卒業 ●2009年 横須賀市長選挙 68,628票で当選 無所属 (2013年 2期目当選) ●2017年 2月7日、市議時代から続ける駅立ちが1,700日を達成 中核市市長会 会長 / 旧軍港市振興協議会 会長

「政策」「実績」「日々の活動」はホームページにてご覧ください

吉田雄人 検索 <https://yuto.net>

●Facebook、Twitterでも情報発信中

住所: 〒238-0008 横須賀市大滝町1-6

電話: 046-829-1710 メール: jimukyoku@yuto.net



吉田雄人

よしだ ゆうと

41歳

無所属

投票日 6月25日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。

ヨコスカは、こんなもんじゃない!



上地克明

かみじ

かつあき

拝啓 横須賀市民のみなさまへ

今日も、子育てと仕事の両立に苦勞しながら生きる市民がいます。まずは、子どもを育てやすい環境をつくっていききたい。

私自身、その必要性を強く感じてきました。選挙に落選し、

妻に家計を支えてもらっていた時期。二人の子供を家庭福祉委員に預けて仕事を探した日々は忘れられません。

私は、横須賀に生まれ、横須賀に育ち、横須賀の可能性を信じています。

県や国、人や地域とつながって、この町はきっと復活できる。

父が受けた差別がもとで、政治を志しました。

今年で六三歳。

人生の楽しさも難しさも経験して、この歳だから見えること、言えることがあります。

人生の危機に、見離さず救ってくれた、一人の友人を見習って

横須賀を「誰も一人にしない町」にしたい。

上地克明

プロフィール

昭和29年1月/横須賀市吉倉町に生まれる。昭和41年3月/横須賀市立逸見小学校卒業。昭和44年3月/横須賀市立桜台中学校卒業。昭和47年3月/神奈川県立横須賀高校卒業。

昭和52年3月/早稲田大学商学部卒業。昭和52年4月/株式会社ニチリョウ入社。昭和53年2月/衆議院議員田川誠一秘書(国会及び川崎市担当)新自由クラブ神奈川県副委員長就任。

昭和58年/川崎市宮前区において最年少で県議選初出馬。8,027票の支持を受けたが惜敗。昭和62年/横須賀市において県議選出馬。平成15年/横須賀市会議員初当選(当選4回)。

平成20年/原子力空母調査のため団長として訪米。平成23年/「横須賀市中小企業振興基本条例」を提案。平成24年/「横須賀市地域を支える条例」を提案。平成25年/「ニューウィング横須賀地域主権会議」を立ち上げる。

横須賀市長選挙

投票日

6月25日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。